

キリストの地上再臨

2020年7月5日

マタイ 25・31～46 羊と山羊

序：先週は毒麦のたとえと解き明かしの間に二つのたとえ

ペンテコステ（五旬節）にエルサレムで新約の教会（キリスト信者の群れ）誕生
以降、聖霊の時代とか教会時代（キリストの空中再臨・教会の携挙迄）と呼ばれる

(1) 小さな種 → 成長して木 それにつれて鳥（悪魔）も巣を作って住む

(2) 粉全体を膨らませるパン種

パン種	● パリサイ人（律法主義）	粉	西方教会（ローマカトリック）
	● サドカイ人（権威主義）	⇒	東方教会（正教会）
	● ヘロデ（反ユダヤ主義）		プロテスタント教会

聖書の真理にない誤った教理・礼典・儀式を混入させ、変質させ、弱化させ、
徐々に崩壊へと導く ブレンド種も

(3) 毒麦

3 つとも、本物の中に偽物も共存することを教えている

I. いつまで？ 再臨まで（その時はっきり分けられる）

空中再臨

- ① 主イエスが天から下って来られる
- ② パラダイスで先に召された信者が栄光の体に復活
- ③ 地上に生きている信者が栄光の体に変えられる
- ④ 空中（大気圏でなく、キリストの支配圏）で主とお会いする
- ⑤ 瞬間的に起こる出来事
- ⑥ 合流した両者は天の父が備えた場所に行き、地上再臨の時まで住む

地上再臨

- ① 反キリストを滅ぼす
- ② ユダヤ民族を救う
- ③ 旧約時代の信者と大患難期の信者がよみがえる
- ④ 新約時代の信者＝教会が主とともに地上に降りてくる
- ⑤ 千年王国が開国、エルサレムに真の平和
- ⑥ 千年王国にはキリスト信者（教会）と旧約の信者と大患難期の信者だけが入国できる

Ⅱ. 4つのたとえ話 (2つは空中再臨、あと二つは地上再臨に関する心備え)

(1)マタイ 24・43～44 泥棒に警戒する

(2)マタイ 24・45～51 主人から留守の間家の管理を任されたしもべ

(3)マタイ 25・1～13 賢い5人の娘と5人の愚かな娘

(4)マタイ 25・14～30 タラントを託された3人のしもべ

備えのある者とない者

主イエスをメシヤと信じる者と信じない者

||

用心している人、忠実なしもべ、準備をしている娘、勤勉なしもべ

Ⅲ. 羊と山羊のたとえ話 マタイ 25・31～46

(3)からの適用

<u>5人の賢い娘</u>	と	<u>5人の愚かな娘</u>	<u>油＝信仰</u> をもっているか否か
大患難時代の		大患難時代の	
異邦人信者		異邦人不信者	

羊	山羊	信仰から出る善き業（隣人愛）
右	左	の有無
父に祝福された人達	呪われた者ども	信者たちの最も小さい者に
御国を継ぐ	永遠の火に入る	したこと・しなかったこと
千年王国		
↓	↓	よき業は信仰の証明（実）
永遠のいのち	永遠の刑罰	
×いつまでも続く命	×消えてなくなる	
○ 変わらない命	○ 永遠に苦しみ続ける	

黙示 22・12 それぞれのしわざに応じて報いるために、わたしは来る

Ⅱコリ 5・10 各自その肉体にあってした行為に応じて報いを受ける

ヨハネ 5・29 善を行なった者は、よみがえっていのちを受け、悪を行なった者は、よみがえってさばきをうける

信仰を持っているかどうか

よき業が信仰の実として結ばれているか

信者の最も小さい者に仕える＝主イエス・キリストに仕える

「靴屋のマルチン」